

4. 福岡市の公共用水域における有機フッ素化合物の実態調査及び下水処理場からの排出状況について

環境科学課 平野 真悟・小原 浩史
豊福 星洋・松尾 友香

第 47 回日本水環境学会年会

PFOS に代表される有機フッ素（PFCs）は親水性と親油性を併せ持ち、断熱材、撥水剤等様々な用途で用いられているが、難分解性で残留性があり、環境への蓄積が問題となっている。福岡市では下水道普及率が 99.5% 以上で、PFCs の排出源と考えられている生活排水や事業所排水の大部分が下水へ排出されている。本研究では、公共用水域における環境実態調査とともに下水処理場からの排出状況について調査を行った。